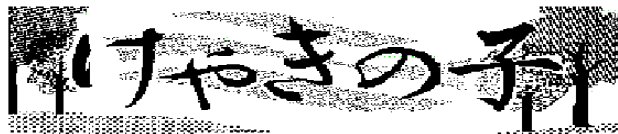


学校

通信



April

平成31年4月11日  
大田区立石川台中学校  
発行 経営支援部

平成31年4月

## 感動ある学校にいじめ問題はいらぬ

校長 村上 昭夫

白く咲き出でた花びらが桜色に染まっています。春爛漫の中、新年度を迎えました。

「学校には、感動がある!」との思いのもと、教育目標「思考力に富む生徒」「実行力のある生徒」「情操の豊かな生徒」を育てることを受け、「これからの社会に貢献する人間性豊かで品格あるたくましい人」を育てることを使命と考え教育活動を展開します。「学校経営計画」については、15日(月)の保護者会で概要を説明いたします。

さて、昨日は入学式を挙行し、63名の新入生を迎えました。「式辞」の中で以下のことなどを話しました。

- 1 本校には、良き伝統がある。それは、上級生が下級生の手本となって、日々の学習、生徒会活動や部活動、行事などに積極的に取り組んでいるということである。三年生、二年生は、実に頼りになる先輩である。
- 2 「学校には感動がある。安心して毎日元気に登校し、一日も早く本校での生活に慣れ、持っている力を十分に発揮してくれることを願う。
- 3 学校は勉強するところである。社会人として生きていくために必要な基礎を身につけるところである。毎日の授業に積極的な態度で臨むとともに家庭学習の時間を増やすこと。
- 4 学校は、集団生活の場であり、一定のルールがある。あいさつをする、時間を守る、人の話をきちんと聞く、責任を果たす、など、当たり前なのが当たり前になり、実行できる人になってほしい。
- 5 「いじめ」は許さない。多様な人々がいる中で理解しあい、協力して物事を高いレベルでやり遂げてほしい。小中学生の世代は、言葉によるいじめが一番多い。自分はどういう種類の言葉を発しているか考えてみてほしい。「人があたたかく感じる言葉」や、「人を励ます言葉」のような言葉が多く出てくると「いじめ問題」は起きないと思う。感動ある学校にいじめは必要ない。「いじめは許さない」、ということをここで宣言しておく。「いじめ問題」のない学級、学年を作り上げること。
- 6 充実した学校生活を送るには、強い心と体が必要だ。食事や睡眠など、規則正しい生活を送り、体育の授業を始めとして運動を心がけ、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などにも積極的に参加し、何が起こっても動じない、辛いことにも負けず、プラス思考で取り組める心とたくましい体を作ろう。
- 7 これからの学校生活の中で心が潤う出来事がたくさん待っている。しかし、時に超えなければならぬ試練もあると思う。人は様々な出会いの中で成長していく。決して人はひとりぼっちではない。人と関わり、協力し助け合う活動を通して、乗り越えてほしいと思う。

本年度も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

# 新年度がスタートしました！

新入生63名を迎え、平成31年度(令和元年度)がスタートしました。生徒達は希望に胸を膨らませて、新しい生活を送り始めています。始業式・入学式と整然と行われ、良いスタートが切れたようです。

## 表彰紹介

### 地域の防災活動

ボランティア作文 感謝状 2年

### 第22回図書館を使った調べる学習コンクール

調べる学習部門 中学生の部 3年 佳作

### 2019年用緑化運動ポスター原画

3年 入賞

### 平成30年度学校文化行事第68回東京都公立学校教科作品展覧会

#### 技術・家庭

シューズケース 3年  
刺し子のメッシュケース 2年  
鋳造キーホルダー 2年

#### 美術

銅板レリーフ「カパウサ」 3年  
銅板レリーフ「カメル」 3年  
銅板レリーフ「Happyタートル」 3年

### バドミントン部

#### 【第7回AブロックKaizuka Badminton大会】

バドミントン男子団体A 第2位  
バドミントン女子団体A 第3位  
バドミントン女子団体B 第3位

#### 【第72回区民スポーツ大会春季バドミントン大会】

男子ダブルス 準優勝  
女子ダブルス 第3位